

④ 応急危険度判定実施計画書（様式4）の作成を行う。太枠部分については、必ず記入する。

シナリオ演習2：判定実施本部業務

判定実施計画の策定

演習内容

判定実施計画の策定
（建築物応急危険度判定行動マニュアル P11）

演習目的と内容

判定実施計画、支援要請計画を立案する。
（応急危険度判定実施計画書（様式4）の作成）

設定日時 震災当日

設定場所 判定実施本部内

【条件】

藤沢市被害想定のとおり。（P3-4～P3-8）

【手元に準備するもの】

- ① 応急危険度判定手帳（抜粋）
- ② シナリオ演習2資料（P3-3～P3-8）
- ③ 藤沢市防災地図（シナリオ演習用）＜各班配布＞
- ④ 判定実施計画書作成の考え方（一例）＜各班配布＞
- ⑤ 応急危険度判定実施計画書（様式4）＜各班配布＞
- ⑥ 応急危険度判定実施検討事項まとめ＜各班配布＞

【演習手順】

- ① 応急危険度判定に関する諸条件を判定手帳等から把握する。
- ② 建築物応急危険度判定行動マニュアルP9～13、伝達シナリオの内容、想定条件、参考資料、参考図等から、計画立案材料を集める。
- ③ 応急危険度判定実施計画書（様式4）の作成については、班内で十分意見を出し合い検討する。

（特に検討を要す項目）

- | | |
|------------|----------------|
| ① 判定実施期間 | ② 調査方法 |
| ③ 判定士の参集場所 | ④ 判定拠点の有無・設置場所 |
| ⑤ 判定開始日 | ⑥ 判定区域 |
| ⑦ 対象建築物 | ⑧ 調査棟数 |
| ⑨ 判定士数 | ⑩ コーディネーター数 |

作成する手順 特に検討を要す項目①～⑩について、例1～3に示す順番での検討が考えられる。

【例 1】 判定区域から検討する場合。

⑥⇒⑦⇒⑧（棟数算出）⇒②⇒①⇒⑤（日数決定）⇒⑨⇒⑩（判定士算出）⇒③⇒④

【例 2】 判定実施期間から検討する場合。

①⇒⑤（日数決定）⇒⑥⇒⑦⇒⑧（棟数算出）⇒②⇒⑨⇒⑩（判定士算出）⇒③⇒④

【例 3】 判定士の人数から検討する場合。

⑨⇒⑩（判定士算出）⇒⑥⇒⑦⇒⑧（棟数算出）⇒②⇒①⇒⑤（日数決定）⇒③⇒④

【ポイント】

- ① 平常時に、あらかじめ予想される判定建築物の棟数を集計しておく。
- ② 震前判定実施計画書、震前支援計画書を作成する。
- ③ その他詳細については、建築物応急危険度判定行動マニュアル（P11～13）参照のこと。

※本演習では判定実施計画の策定における一連の過程を体験することが第一の目的であるため、時間内での判定実施計画書作成が困難にならないよう、説明や資料で示した想定等以外については各自で設定して良い。

【資料】

- ・ 判定実施計画書作成の考え方（一例）・・・P3-2
- ・ 過去の判定実績
- ・ 平成16年新潟県中越地震 1チーム/日の判定棟数推移
- ・ 平成16年新潟県中越地震 判定士数推移・・・P3-3
- ・ 藤沢市被害想定・・・P3-4
- ・ 緊急輸送道路等・・・P3-5
- ・ 鉄道路線・・・P3-6
- ・ 震度分布図
- ・ 地域別新旧耐震住宅棟数一覧表・・・P3-7
- ・ 災害拠点施設一覧表・・・P3-8
- ・ 応急危険度判定実施計画書（様式4）・・・P3-9

判定実施計画書作成の考え方(一例)

様式 4

*令和 年 月 日
*午前・午後 時 分 作成
地区 □総合版

■ 応急危険度判定実施計画書 □

判定実施本部 設置場所		
判定実施期間	令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日 (日間)	
調査方法	<input type="checkbox"/> 外観調査 <input type="checkbox"/> 立入調査 <input type="checkbox"/> その他	
判定士等の 参集場所		
判定拠点の有無 ・設置場所		
判定日	1日目(/) 2日目	
判定 区域	判定実施 区域	
判定 建築物	対 象 建築物 優先用途 調査棟数 (累計)	() ()
判定 士数	必要判定 士数 地元判定 士数 要請判定 士数	
コーディ ネーター 数	必要コーディ ネーター数 市コーディ ネーター数 要請コーディ ネーター数	
判定資機材	必要数量	必要
判定 調査 表	W 造 S 造 RC造	
判定 標識	調査済 要注意 危険	
ヘルメット		
ナップザック		
下げ振り		
クラックスケール		
画板(クリップ)		
コンベックス		
ガムテープ		
特記事項		

[判定士等の参集場所の設定例]
◆公の施設等判定士がわかりやすい場所、参集人数に応じた広さが確保されている、コーディネーター業務(受付~取りまとめ)の作業が可能な必要資機材が揃っている場所で設定する。
【資料3 P3-4 藤沢市被害想定「13 判定拠点と成り得る公共施設」、P3-4 藤沢市被害想定(参考資料集) 災害拠点施設一覧表】

[判定拠点の有無・設置場所の設定例]
◆公の施設等判定士がわかりやすい場所、参集人数に応じた広さが確保されている、拠点における作業が可能な必要資機材が揃っている場所で設定する。
【資料3 P3-4 藤沢市被害想定「13 判定拠点と成り得る公共施設」、P3-4 藤沢市被害想定(参考資料集) 災害拠点施設一覧表】

[判定実施区域の設定例]
◆被害情報を基に設定する。
[地図番号・判定街区数の設定例]
◆判定街区マップ等から記入する。

[判定士数の設定例]
◆必要判定士数を算出する方法
□調査棟数から算出する方法
過去地震の判定実績から判断して、1日1チームあたりの調査棟数を設定することにより算出が可能である。
【資料3 P3-3 過去の判定実績】
【資料3 P3-3 平成16年新潟県中越地震1チーム/日の判定棟数推移】
□災害の状況に応じて予め設定されている判定街区数が決定されている被災市町村の場合には、1日に実施したい調査区域を決定し、その区域の街区数から決定する方法(その場合には、1チーム当たり担当する街区数を設定する必要がある)
□必要判定士の受け入れ体制の状況から、判定士数を決定せざるを得ない状況も考えられる。

[コーディネーター数の設定例]
◆必要コーディネーター数は、必要判定士数から次の条件を基に算出
【条件】コーディネーター1名は、3班(60名)~最大5班(100名)までを統括する。
【応急危険度判定マニュアル P12】
◆市コーディネーター数は、行政職員コーディネーター登録数の範囲内で設定
【資料3 P3-4 藤沢市被害想定「12 応急危険度判定士数」】

[判定資機材の設定例]
◆判定士1人に1個準備するもの。
ヘルメット、ナップザック
◆判定士チームに1個の割合で準備するもの。
下げ振り、クラックスケール、画板(クリップ)、コンベックス、ガムテープ

[判定調査表数の設定例]
W造(木造): 実際の木造の数から算出
S造、RC造: 非木造の数から、S造、RC造の比率を想定して算出

[実施期間の設定例]
◆開始時期: 地震発生後できる限り早い時期(地震発生1~2日後を目処) 【判定士手帳抜粋 P3②】
◆実施期間: 10~14日程度を目安
【資料3 P3-3 過去の判定実績、P3-3 平成16年新潟県中越地震判定士数推移】
◆判定士が参集するための交通手段の運行状況を考慮する。
【資料3 P3-4~P3-8 藤沢市被害想定「4 交通施設の被害状況」】

[調査方法の設定例]
◆<調査方法の検討> 【マニュアル P12(3)】
1: 対象建築物の全てについて、「外観」調査を中心として判定を実施
2: 対象建築物の全てについて、「立入り」調査を中心として判定を実施
3: 所有者等の「要請」に応じた対象建築物について、「立入り」調査を含む判定の実施

※調査方法を決定するにあたり以下の点に留意する。
① 必要判定士数(立入調査においては必要行政職員)
② 判定実施区域の変更の可能性
③ 判定対象となる建築物の用途、規模
④ 被災地の状況(火災の発生状況、被災者の救助、暴動等)
⑤ 判定活動の被災者への影響
⑥ 優先順位の設定の要否

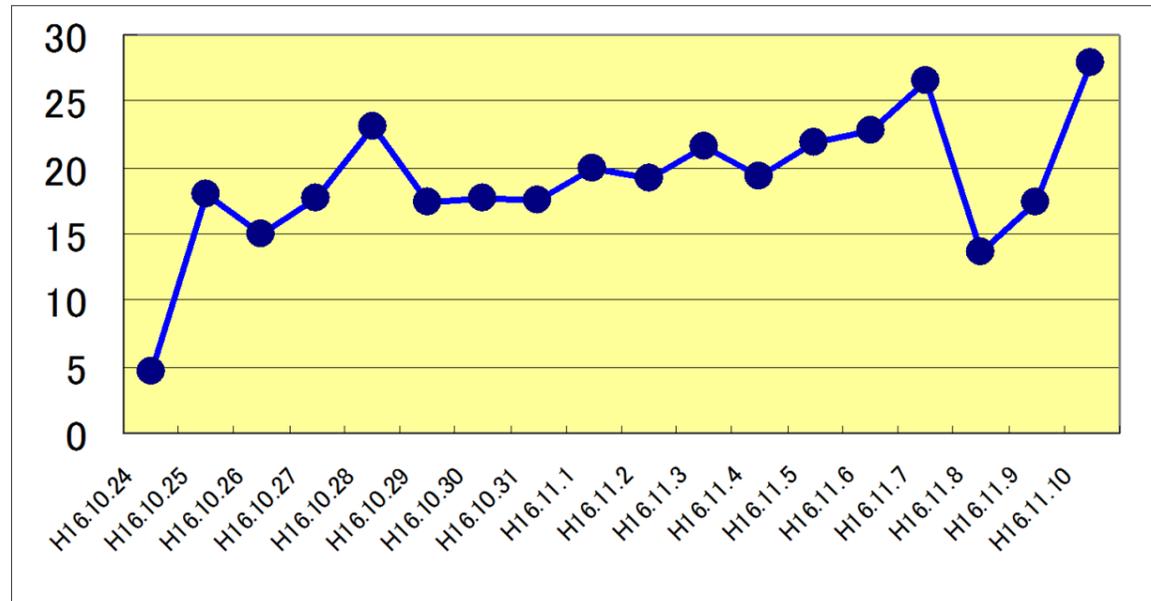
[対象建築物の設定例]
◆判定を検討する建築物対象
準公共施設: 病院、診療所
民生施設: 一戸建て住宅、共同住宅
長屋、寄宿舎
宿泊施設: 旅館、ホテル
生活関連施設: 店舗、百貨店
事業施設: 事務所
供給施設: ガソリンスタンド

[調査棟数の設定例]
◆被災市町村の情報から算出する。
【資料3 P3-17 藤沢市被害想定(参考資料集) 地域別新旧耐震住宅棟数一覧】

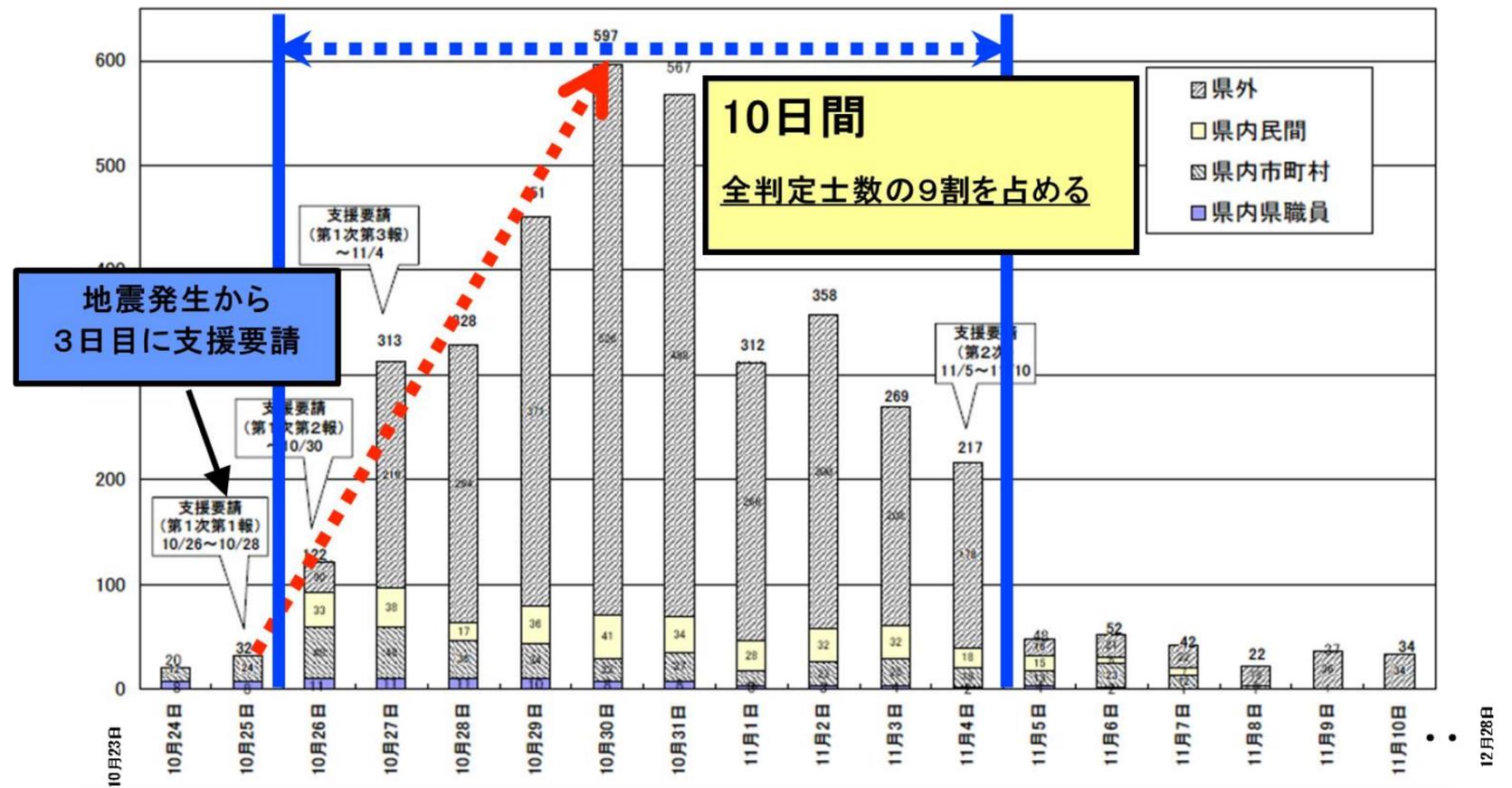
過去の判定実績

地震名	兵庫県南部地震	発生日	平成7年1月17日
対象建物	共同住宅及び長屋		
判定期間	平成7年1月18日	～	2月9日(23日間)
判定人数	約6,468人	1チームあたり	約14.4棟
判定棟数	46,610棟	(※1チーム=判定士2人1組)	
判定結果	調査済 30,832棟(66%)	要注意	9,302棟(20%)
		危険	6,476棟(14%)
地震名	宮城県北部地震	発生日	平成15年7月26日
対象建物	住宅		
判定期間	平成15年7月27日	～	8月3日(14日間)
判定人数	743人	1チームあたり	約19.5棟
判定棟数	7,245棟	(※1チーム=判定士2人1組)	
判定結果	調査済 3,804棟(53%)	要注意	2,181棟(30%)
		危険	1,260棟(17%)
地震名	新潟県中越地震	発生日	平成16年10月23日
対象建物	住宅		
判定期間	平成16年10月24日	～	11月10日(18日間)
判定人数	3,821人	1チームあたり	約18.9棟
判定棟数	36,143棟	(※1チーム=判定士2人1組)	
判定結果	調査済 19,778棟(55%)	要注意	11,122棟(31%)
		危険	5,243棟(14%)
地震名	新潟県中越沖地震	発生日	平成19年7月16日
対象建物	住宅他		
判定期間	平成19年7月16日	～	7月23日(8日間)
判定人数	2,758人	1チームあたり	約24.7棟
判定棟数	34,048棟	(※1チーム=判定士2人1組)	
判定結果	調査済 20,150棟(59%)	要注意	8,943棟(26%)
		危険	4,955棟(15%)
地震名	東北地方太平洋沖地震	発生日	平成23年3月11日
対象建物	住宅他		
判定期間	平成23年3月11日	～	5月31日(82日間)
判定人数	8,541人	1チームあたり	約22.4棟
判定棟数	95,381棟	(※1チーム=判定士2人1組)	
判定結果	調査済 11,699棟(12%)	要注意	23,191棟(24%)
		危険	60,491棟(64%)
地震名	熊本地震	発生日	平成28年4月14日
対象建物	住宅他		
判定期間	平成28年4月15日	～	6月4日(51日間)
判定人数	6,819人	1チームあたり	約16.9棟
判定棟数	57,570棟	(※1チーム=判定士2人1組)	
判定結果	調査済 22,833棟(40%)	要注意	19,029棟(33%)
		危険	15,708棟(27%)

平成16年 新潟中越地震 1チーム/日 の判定棟数推移



平成16年 新潟中越地震 1日の判定士数推移



※地震発生日時: 10月23日PM5:56

藤沢市の被害想定

1 想定地震

大正型関東地震

- ①被災市町村 : 藤沢市
- ②発生日時 : 令和元年 10 月 7 日 (月) 午前 9 時
- ③震源地 : 相模トラフ
- ④地震の規模 : マグニチュード 8.2
- ⑤震度 : 藤沢市 震度 6 強から震度 7
- ⑥津波 : 津波警報の発令あり(本市被害なし)
- ⑦被害状況 : 不明

2 災害対策本部の開設状況

地震発生後、第一報は3分程度、詳細は5分後に発表され、10分経過した時点で、藤沢市庁舎内に市災害対策本部を設置した。また、ほぼ同時刻に県災害対策本部も設置された。

3 藤沢市庁舎の被害状況

- ・窓ガラスや壁の一部にひび割れが入ったが、軽微な被害にとどまっており、余震等による被害の拡大及び危険性はない。
- ・地震直後に停電したが自家発電装置が起動し、非常電源を確保した。
- ・通信施設（電話、FAX）、コンピューターシステムの被害なし。

4 交通施設の被害状況

(1) 道路被害及び交通状況

ア 緊急交通路（一般車両の通行不可）

- ・県公安委員会が各道路管理者との協議により大地震発生時における緊急交通路指定想定路線の中から指定する路線。
- ・被災者の避難及び救出・救助。消火活動等に使用される緊急車両(自衛隊、消防、警察)及びこの活動を支援する車両(啓開活動作業車)のみ通行可能となります。緊急交通路は、救出・救助活動が一段落した後は『緊急輸送路』に移行します。

イ 第1次緊急輸送路線（20倍～50倍の渋滞）

- ・高規格幹線道路、一般国道等で構成する広域的ネットワーク、及び港湾等に連絡する路線で緊急輸送路の骨格をなす路線です。

ウ 第2次緊急輸送路線（30倍～40倍の渋滞）

- ・第一次緊急輸送道路を補完し、地域的ネットワークを形成する路線、及び市町村庁舎等を連絡する路線です。

エ 橋りょう

- ・緊急輸送路における落橋はない。

(2) 公共交通機関（鉄道、バス）

ア 鉄道

- ・JR東海道線
上野駅～熱海駅間が運休。2日後(10月9日)より熱海駅～小田原駅間運行開始。3日後(10月10日)より上野駅～小田原駅間運行開始。
- ・小田急線
藤沢駅～新宿駅間が運休。3日後(10月10日)より運行開始。
- ・江ノ島電鉄線
藤沢駅～鎌倉駅間が運休。3日後(10月10日)より運行開始。
- ・相鉄いずみ野線
藤沢駅～横浜駅間が運休。7日後(10月14日)より運行開始。
- ・横浜市営地下鉄ブルーライン
藤沢駅～横浜駅間が運休。7日後(10月14日)より運行開始。

イ バス

市内バスは3日後に通常運行の半数で運行開始。

5 午前9時 10 分までに発生している被害状況

全壊、半壊を合わせて約 50,000 棟の建物が被災している模様

6 火災の発生状況

地震発生後、片瀬・村岡地区付近を中心に火災が発生し、市内 120 件の火災が発生している。延焼火災等により約 2,000 棟程被害が出ている。住宅が密集しているため街路が閉塞され、消火が困難になるエリアが生じている。

7 津波被害

片瀬・鵜沼・辻堂地区で津波の浸水被害を受けている。約 4,000 棟程流失している。

8 液状化危険度

境川、引地川沿いで液状化が生じている。全壊 100 棟、半壊 150 棟に建物被害が生じている。

9 崖崩れ

藤沢市内の急傾斜地崩壊危険区域は 18 箇所ある。崖崩れによる建物被害は特に発生していない。

10 市で備蓄している判定備品

保管場所:藤沢市役所本庁舎、まちづくり協会ビル

※()はまちづくり協会ビル備蓄数

判定資機材名称	数量		
	W造	S造	R C造
判定調査表(枚)	35,130 (内16,000)	5,570 (内2,500)	6,930 (内3,000)
判定標識(枚)	調査済	要注意	危険
	24,517 (内12,000)	23,000 (内10,000)	23,000 (内10,000)
ヘルメット	200(内100)		
ナップザック	194(内90)		
下げ振り	113(内50)		
クラックスケール	98(内40)		
画板	100(内50)		
コンベックス	105(内50)		

11 ライフラインの生活障害の状況

藤沢市世帯数:190,679 世帯

人口:434,313 人

影響世帯	水道	382,830 人
	電気	219,590 軒
	都市ガス	133,830 世帯
	LPガス	700 世帯
	電話	155,280 回線
応急復旧作業日数	水道	40 日
	電気	7 日
	都市ガス	28 日
	LPガス	3 日
	電話	4 日

12 応急危険度判定士数

	行政職員判定士登録者数(行政職員コーディネーター登録数)	民間判定士登録者数
全国	28,866 人	81,509 人
神奈川県	1,525 人	10,990 人
藤沢市	91 人(33 人)	515 人

13 判定拠点と成り得る公共施設・耐震性及び電気、水道、ガス、通信等の設備の機能が確保されている公共施設

市役所本庁舎、まちづくり協会ビル、御所見公民館、明治公民館、善行公民館

14 宿泊施設

藤沢青少年会館にて、約 70 人の宿泊可能。

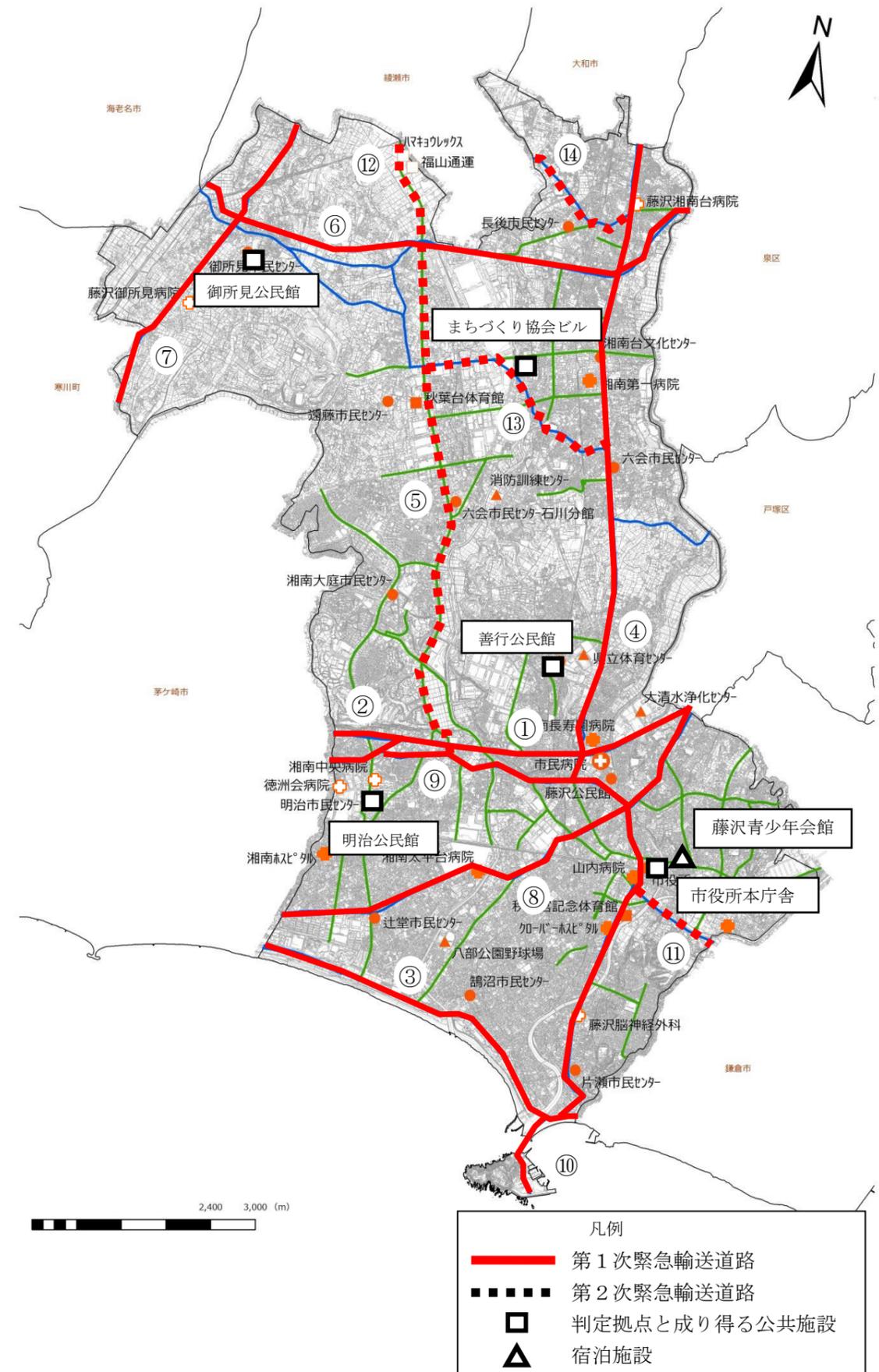
[参考資料集]
緊急輸送道路等

第1次緊急輸送道路

路線番号	路線名	区間
①	国道1号	横浜市境～茅ヶ崎市境
②	国道1号(新湘南バイパス)	藤沢インター～茅ヶ崎市境
③	国道134号	鎌倉市境～茅ヶ崎市境
④	国道467号	国道134号交点～大和市境
⑤	県道43号(藤沢厚木)	国道467号交点(白幡)～県道44号伊勢原藤沢交点 県道44号交点～県道403号交点(遠藤東)
⑥	県道22号(横浜伊勢原)(用田バイパス)	横浜市境～海老名市境
⑦	県道45号(丸子中山茅ヶ崎)	綾瀬市境～寒川町境
⑧	県道30号(戸塚茅ヶ崎)	横浜市境～茅ヶ崎市境
⑨	県道44号(伊勢原藤沢)	国道1号交点(四ッ谷)～ 県道43号藤沢厚木交点
⑩	湘南港臨港道路	全線

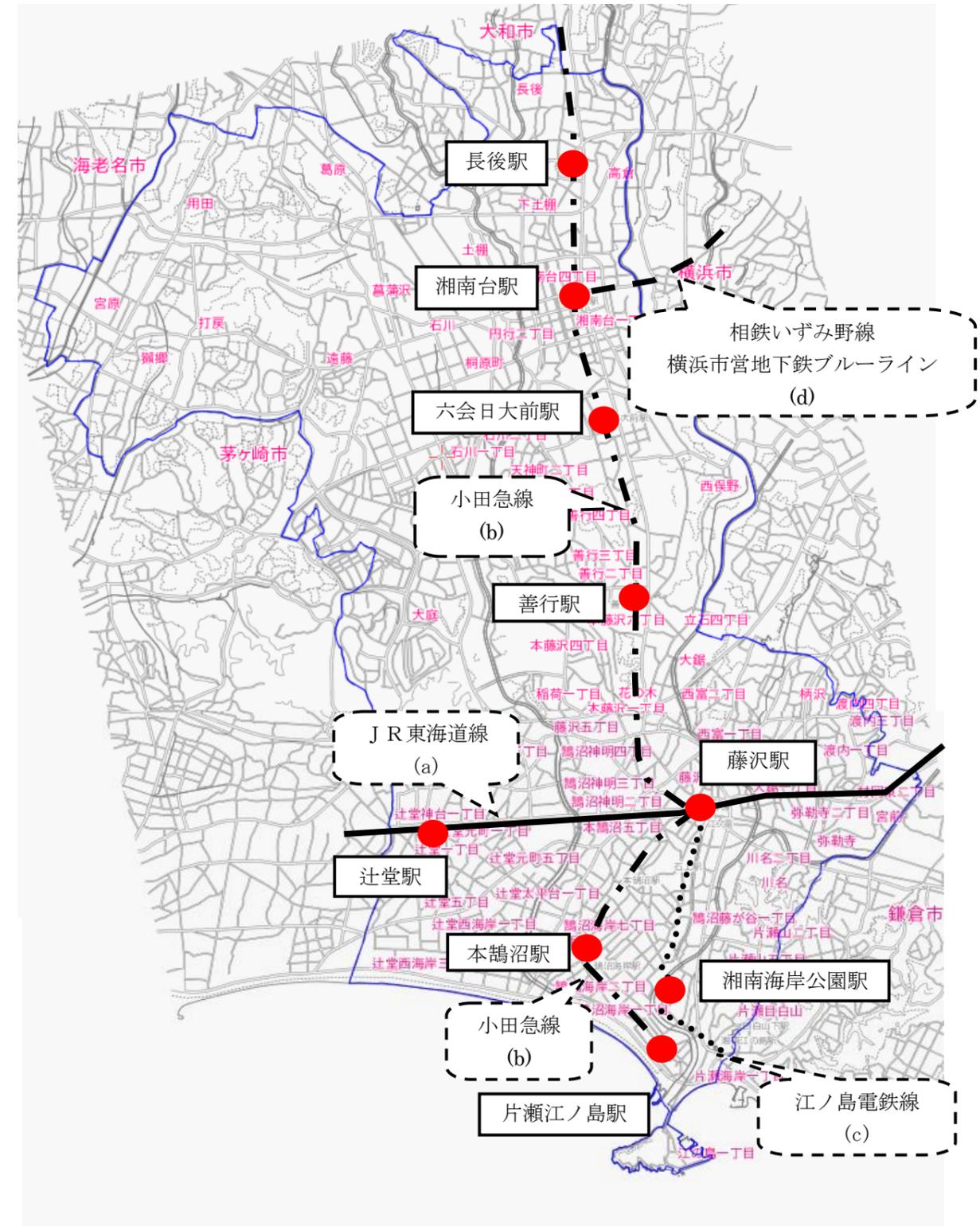
第2次緊急輸送道路

路線番号	路線名	区間
⑪	県道32号(藤沢鎌倉)	国道467号交点(南藤沢)～鎌倉市境
⑫	県道42号(藤沢座間厚木)	県道22号交点(東山田)～綾瀬市境
⑬	県道403号(菖蒲沢戸塚)	県道43号交点(遠藤東)～国道467号交点
⑭	藤沢市道長後865号線	国道467号交点(長後小入口)～綾瀬市境
⑮	藤沢市道	県道403号交点(遠藤東)～ 県道22号交点(東山田)

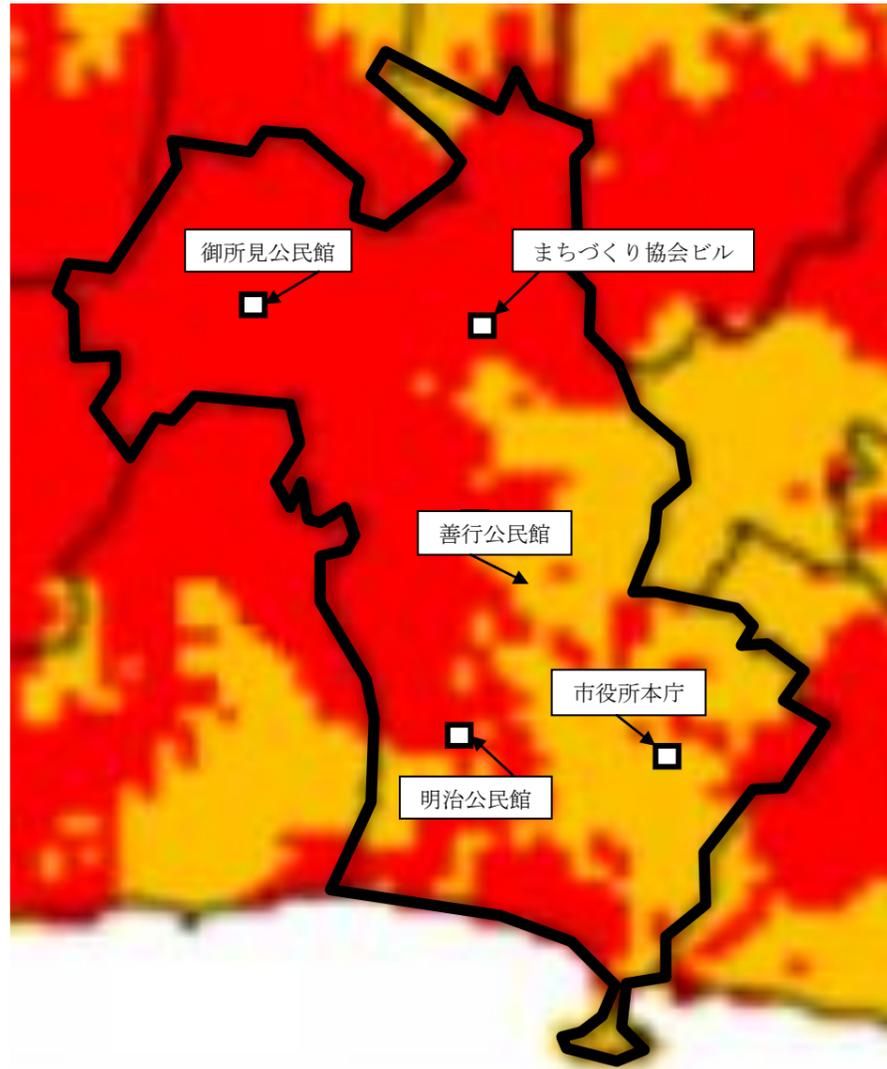


鉄道路線

番号	路線名	区間	被害状況
a	J R 東海道線	熱海駅から小田原駅間	2日後（10月9日）より運行開始
a	J R 東海道線	上野駅から小田原駅間	3日後（10月10日）より運行開始
b	小田急線	藤沢駅から新宿駅間	3日後（10月10日）より運行開始
c	江ノ島電鉄線	藤沢駅から鎌倉駅	3日後（10月10日）より運行開始
d	相鉄いずみ野線	湘南台駅から横浜駅	7日後（10月14日）より運行開始
d	横浜市営地下鉄ブルーライン	湘南台駅から横浜駅	7日後（10月14日）より運行開始



震度分布図及び住宅棟数



※大正型関東地震

【判定拠点と成り得る公共施設】

- ・市役所本庁舎・まちづくり協会ビル・御所見公民館・明治公民館・善行公民館



統計13地区		戸建て住宅		集合住宅		店舗併用住宅		店舗併用集合住宅		住宅系合計	
		木造	非木造	木造	非木造	木造	非木造	木造	非木造	木造	非木造
かた 片瀬地区	合計	4546	1330	257	322	267	81	5	40	5075	1773
	新耐震	3119	912	176	221	183	56	3	27	3481	1216
	旧耐震	1427	418	81	101	84	25	2	13	1594	557
かヌマ 鶴沼地区	合計	11018	3059	818	1213	441	172	33	216	12310	4660
	新耐震	7558	2098	561	832	303	118	23	148	8445	3197
	旧耐震	3460	961	257	381	138	54	10	68	3865	1463
ツトウ 辻堂地区	合計	7467	2068	553	864	345	123	9	54	8374	3109
	新耐震	5122	1419	379	593	237	84	6	37	5745	2133
	旧耐震	2345	649	174	271	108	39	3	17	2629	976
メイ 明治地区	合計	4755	1134	423	575	197	99	9	36	5384	1844
	新耐震	3262	778	290	394	135	68	6	25	3693	1265
	旧耐震	1493	356	133	181	62	31	3	11	1691	579
ムラカ 村岡地区	合計	4987	1613	360	645	159	78	9	35	5515	2371
	新耐震	3421	1107	247	442	109	54	6	24	3783	1627
	旧耐震	1566	506	113	203	50	24	3	11	1732	744
フジサワ 藤沢地区	合計	6547	1588	523	991	393	150	35	206	7498	2935
	新耐震	4491	1089	359	680	270	103	24	141	5144	2013
	旧耐震	2056	499	164	311	123	47	11	65	2354	922
センキョウ 善行地区	合計	6421	1775	360	1021	187	80	9	110	6977	2986
	新耐震	4405	1218	247	700	128	55	6	75	4786	2048
	旧耐震	2016	557	113	321	59	25	3	35	2191	938
ショウナンオオハ 湘南大庭地区	合計	4129	1446	138	961	121	63	4	39	4392	2509
	新耐震	2832	992	95	659	83	43	3	27	3013	1721
	旧耐震	1297	454	43	302	38	20	1	12	1379	788
ムツアイ 六会地区	合計	6784	2188	485	836	213	99	20	78	7502	3201
	新耐震	4654	1501	333	573	146	68	14	54	5146	2196
	旧耐震	2130	687	152	263	67	31	6	24	2356	1005
ショウナンダイ 湘南台地区	合計	2704	1181	307	898	129	69	22	208	3162	2356
	新耐震	1855	810	211	616	88	47	15	143	2169	1616
	旧耐震	849	371	96	282	41	22	7	65	993	740
チョウゴ 長後地区	合計	7709	2179	441	715	318	151	13	60	8481	3105
	新耐震	5288	1495	303	490	218	104	9	41	5818	2130
	旧耐震	2421	684	138	225	100	47	4	19	2663	975
エンドウ 遠藤地区	合計	2582	991	81	214	86	57	3	14	2752	1276
	新耐震	1771	680	56	147	59	39	2	10	1888	875
	旧耐震	811	311	25	67	27	18	1	4	864	401
ゴシヨミ 御所見地区	合計	5333	1954	124	242	208	136	3	15	5668	2347
	新耐震	3658	1340	85	166	143	93	2	10	3888	1610
	旧耐震	1675	614	39	76	65	43	1	5	1780	737
藤沢市	合計	74982	22506	4870	9497	3064	1358	174	1111	83090	34472
	新耐震	51438	15439	3341	6515	2102	932	119	762	57000	23648
	旧耐震	23544	7067	1529	2982	962	426	55	349	26090	10824

災害拠点施設一覧表（13地区別）

災害拠点施設一覧表（13地区別）

No.	地区	分類	施設名	No.	地区	分類	施設名
1	カセ 片瀬	公共施設		9	ムツアイ 六会	公共施設	
		避難施設	片瀬小学校 片瀬中学校 湘南港港湾管理事務所 江島神社 湘南白百合学園中学校 湘南白百合学園高等学校			避難施設	マキノ 俣野小学校 カメイ 亀井野小学校 テンジン 天神小学校 石川小学校 六会小学校 六会中学校 日本大学藤沢小学校 日本大学藤沢高等学校 日本大学生物資源科学部 藤沢工科高等学校
2	クグマ 鶴沼	公共施設		10	ショウナンダイ 湘南台	公共施設	まちづくり協会ビル
		避難施設	コウナン 鶴南小学校 コウヨリ 鶴沼小学校 鶴沼小学校 鶴沼中学校 太陽の家 藤沢市民会館 藤嶺学園鶴沼高等学校 湘南学園 湘南なぎさ荘			避難施設	湘南台小学校 湘南台中学校 湘南台高等学校 多摩大学
3	ツジドウ 辻堂	公共施設		11	エンドウ 遠藤	公共施設	
		避難施設	辻堂小学校 浜見小学校 高砂小学校 八浜小学校 湘洋中学校 高浜中学校 湘南工科大学付属高等学校 湘南工科大学			避難施設	アキハダアイ 秋葉台小学校 アキハダアイ 秋葉台中学校 湘南台高等学校
4	ムラオカ 村岡	公共施設		12	チロウゴ 長後	公共施設	
		避難施設	シンバキ 新林小学校 村岡小学校 高谷小学校 村岡中学校 藤ヶ岡中学校			避難施設	長後小学校 長後中学校 フジミダアイ 富士見台小学校 高倉中学校 藤沢総合高等学校 こぶし荘
5	フジサワ 藤沢	公共施設	藤沢市役所	13	ゴシヨミ 御所見	公共施設	御所見公民館
		避難施設	大道小学校 大鋸小学校 藤沢小学校 藤嶺学園藤沢高等学校 大清水小学校 大清水中学校 藤沢清流高等学校 本町小学校 第一中学校 県立湘南高等学校			避難施設	御所見小学校 御所見中学校 中里小学校
6	メイジ 明治	公共施設	明治公民館	7	ゼンギョウ 善行	公共施設	善行公民館
		避難施設	明治小学校 明治中学校 羽鳥小学校 羽鳥中学校			避難施設	善行小学校 善行中学校 大越小学校 やすらぎ荘 藤沢翔陵高等学校 聖園女学院
8	ショウナンオホ 湘南大庭	公共施設		8	コマヨ 駒寄	公共施設	
		避難施設	駒寄小学校 小糸小学校 大庭小学校 大庭中学校 滝の沢小学校 滝の沢中学校 県立藤沢西高等学校				

演習 2

様式 4

*令和 年 月 日
*午前・午後 時 分 作成

■ 応急危険度判定実施計画書 ■ 地区 総合版

判定実施本部 設置場所						
判定実施期間						
調査方法		<input type="checkbox"/> 外観調査 <input type="checkbox"/> 立入調査 <input type="checkbox"/> その他 ()				
判定士等の 参集場所						
判定拠点の有無 又は設置場所						
判定日		1日目 (/)	2日目 (/)	3日目 (/)	4日目 (/)	5日目 (/)
判定 地域	判定実施 地域					
判定 建築物	対象 建築物					
	調査棟数					
	(累計)	()	()	()	()	()
判定 士数	必要 判定士数					
	地元 判定士数					
	要請 判定士数					
コーディ ネーター数	必要コーディ ネーター数					
	市コーディ ネーター数					
	要請コーディ ネーター数					
判定資機材		必要数量	必要数量	必要数量	必要数量	必要数量
判定 調査表	W造					
	S造					
	RC造					
判定 標識	調査済					
	要注意					
	危険					
ヘルメット						
ナップザック						
下げ振り						
クラックスケール						
画板(クリップ)						
コンベックス						
ガムテープ						
特記事項						

演習 2

様式 4

*令和 年 月 日
*午前・午後 時 分 作成

■ 応急危険度判定実施計画書 ■ 地区 総合版

判定実施本部 設置場所						
判定実施期間						
調査方法		<input type="checkbox"/> 外観調査 <input type="checkbox"/> 立入調査 <input type="checkbox"/> その他 ()				
判定士等の 参集場所						
判定拠点の有無 又は設置場所						
判定日		6日目 (/)	7日目 (/)	8日目 (/)	9日目 (/)	10日目 (/)
判定 地域	判定実施 地域					
判定 建築物	対象 建築物					
	調査棟数 (累計)	()	()	()	()	()
判定 士数	必要 判定士数					
	地元 判定士数					
	要請 判定士数					
コーデ ィ ネター数	必要コーデ ィ ネター数					
	市コーデ ィ ネター数					
	要請コーデ ィ ネター数					
判定資機材		必要数量	必要数量	必要数量	必要数量	必要数量
判定 調査表	W造					
	S造					
	RC造					
判定 標識	調査済					
	要注意					
	危険					
ヘルメット						
ナップザック						
下げ振り						
クラックスケール						
画板(クリップ)						
コンベックス						
ガムテープ						
特記事項						

演習 2

様式 4

*令和 年 月 日
*午前・午後 時 分 作成

■ 応急危険度判定実施計画書 ■ 地区 総合版

判定実施本部 設置場所						
判定実施期間						
調査方法		<input type="checkbox"/> 外観調査 <input type="checkbox"/> 立入調査 <input type="checkbox"/> その他 ()				
判定士等の 参集場所						
判定拠点の有無 又は設置場所						
判定日		11日目 (/)	12日目 (/)	13日目 (/)	14日目 (/)	15日目 (/)
判定 地域	判定実施 地域					
判定 建築物	対象 建築物					
	調査棟数 (累計)	()	()	()	()	()
判定 士数	必要 判定士数					
	地元 判定士数					
	要請 判定士数					
コーディ ネーター数	必要コーディ ネーター数					
	市コーディ ネーター数					
	要請コーディ ネーター数					
判定資機材		必要数量	必要数量	必要数量	必要数量	必要数量
判定 調査表	W造					
	S造					
	RC造					
判定 標識	調査済					
	要注意					
	危険					
ヘルメット						
ナップザック						
下げ振り						
クラックスケール						
画板(クリップ)						
コンベックス						
ガムテープ						
特記事項						

演習 2

様式 4

*令和 年 月 日
*午前・午後 時 分 作成

■ 応急危険度判定実施計画書 ■ 地区 総合版

判定実施本部 設置場所						
判定実施期間						
調査方法		<input type="checkbox"/> 外観調査 <input type="checkbox"/> 立入調査 <input type="checkbox"/> その他 ()				
判定士等の 参集場所						
判定拠点の有無 又は設置場所						
判定日		16日目 (/)	17日目 (/)	18日目 (/)	19日目 (/)	20日目 (/)
判定 地域	判定実施 地域					
判定 建築物	対象 建築物					
	調査棟数 (累計)	()	()	()	()	()
判定 士数	必要 判定士数					
	地元 判定士数					
	要請 判定士数					
コーディ ネーター数	必要コーディ ネーター数					
	市コーディ ネーター数					
	要請コーディ ネーター数					
判定資機材		必要数量	必要数量	必要数量	必要数量	必要数量
判定 調査表	W造					
	S造					
	RC造					
判定 標識	調査済					
	要注意					
	危険					
ヘルメット						
ナップザック						
下げ振り						
クラックスケール						
画板(クリップ)						
コンベックス						
ガムテープ						
特記事項						

演習 2

様式 4

*令和 年 月 日
*午前・午後 時 分 作成

■ 応急危険度判定実施計画書 ■ 地区 総合版

判定実施本部 設置場所						
判定実施期間						
調査方法		<input type="checkbox"/> 外観調査 <input type="checkbox"/> 立入調査 <input type="checkbox"/> その他 ()				
判定士等の 参集場所						
判定拠点の有無 又は設置場所						
判定日		21日目 (/)	22日目 (/)	23日目 (/)	24日目 (/)	25日目 (/)
判定 地域	判定実施 地域					
判定 建築物	対象 建築物					
	調査棟数 (累計)	()	()	()	()	()
判定 士数	必要 判定士数					
	地元 判定士数					
	要請 判定士数					
コーディ ネーター数	必要コーディ ネーター数					
	市コーディ ネーター数					
	要請コーディ ネーター数					
判定資機材		必要数量	必要数量	必要数量	必要数量	必要数量
判定 調査表	W造					
	S造					
	RC造					
判定 標識	調査済					
	要注意					
	危険					
ヘルメット						
ナップザック						
下げ振り						
クラックスケール						
画板(クリップ)						
コンベックス						
ガムテープ						
特記事項						

演習 2

様式 4

*令和 年 月 日
*午前・午後 時 分 作成

■ 応急危険度判定実施計画書 ■ 地区 総合版

判定実施本部 設置場所						
判定実施期間						
調査方法		<input type="checkbox"/> 外観調査 <input type="checkbox"/> 立入調査 <input type="checkbox"/> その他 ()				
判定士等の 参集場所						
判定拠点の有無 又は設置場所						
判定日		26日目 (/)	27日目 (/)	28日目 (/)	29日目 (/)	30日目 (/)
判定 地域	判定実施 地域					
判定 建築物	対象 建築物					
	調査棟数 (累計)	()	()	()	()	()
判定 士数	必要 判定士数					
	地元 判定士数					
	要請 判定士数					
コーディ ネーター数	必要コーディ ネーター数					
	市コーディ ネーター数					
	要請コーディ ネーター数					
判定資機材		必要数量	必要数量	必要数量	必要数量	必要数量
判定 調査表	W造					
	S造					
	RC造					
判定 標識	調査済					
	要注意					
	危険					
ヘルメット						
ナップザック						
下げ振り						
クラックスケール						
画板(クリップ)						
コンベックス						
ガムテープ						
特記事項						

応急危険度判定実施計画検討事項まとめ

書記記入

【 班】

各班で検討して、まとめた内容について記入してください。(提出)

◆判定実施地域：

【理 由】(例：住宅棟数、震度マップ、促進計画等)

◆判定を始めたエリア：

【理 由】(例：拠点施設付近から、住宅地から等)

◆判定建築物について

・対象建築物：

【理 由】

・ 判定期間中、最も大きい1日あたりの調査棟数：

・ 判定期間中、最も小さい1日あたりの調査棟数：

【考え方】

裏面に続く

◆調査方法（○で囲う）

- 1：対象建築物の全てについて、「外観」調査を中心として判定を実施
- 2：対象建築物の全てについて、「立入り」調査を中心として判定を実施
- 3：所有者等の「要請」に応じた対象建築物について、「立入り」調査を含む判定の実施

【理 由】

◆判定実施期間 令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日（ 日間）

【日数及び開始日の理由】

◆ 判定士等の参集場所：

2日目以降の集合場所：

【理 由】

◆判定する地区までの交通手段：

◆判定実施計画書作成について特に配慮・検討した項目：

【理 由】

◆その他、上記以外で特に話し合った内容や疑問点があれば記入してください。